

生涯教育研修会報告書

チーム医療研究班

学発番号 第12-060号

日時：平成25年2月17日（土） 13：15～16：45

場所：メルパルク京都

主題：糖尿病療養指導士講演会（第13回京都CDEの会講習会）

もしも糖尿病患者さんにコーチがいたら

～SMBGとのよりよいおつきあいをめざして～

講師：森岡 浩平 先生 （森岡内科 副院長）

報告者：荻野和大

所属：三菱京都病院

全体参加人数：62人

京臨技会員参加人数：10人

分類：専門 認定関係－20点

以下、講演内容など

① 特別講演

もしも糖尿病患者さんにコーチがいたら

～SMBGとのよりよいおつきあいをめざして～

森岡 浩平 先生 （森岡内科 副院長）

② グループワークと質疑応答

症例検討：コーチングを生かした糖尿病療養指導

～やる気を生み出すコーチング～

《実践的に臨床の場でコーチングをどう使うのか？》をテーマに実際に患者指導で活用されている森岡先生を招きました。先生が、コーチングを学んだきっかけやコーチングを臨床の場での活用した実体験をお話頂き、森岡医院に通院されている患者のデータや診察での会話などを取り上げ、症例についての人間像や問題点、治療法などをグループワークを行いながら、森岡先生と共にコーチングをどう使うのか？を考えました。答えは出ませんが、他職種、他施設からの色々な意見と森岡先生からのコーチングを活用した治療へ方向性などが示された。各施設に持ち帰って実践できればと思いました。